

留意点

①病床機能報告は、定性的な基準に基づく自己申告であり、報告結果もまだ流動的

②病床機能報告は病棟単位で4つの機能を選択するが、将来推計は患者数から推計しており、そのまま比較できるものではない

病床機能報告	将来推計		
<p>病棟A (30床)</p> <p>この病棟は、高度急性期機能 (自己申告)</p>	<p>ある日の病棟A</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期機能相当の患者 15人</td> <td>急性期機能相当の患者 15人</td> </tr> </table>	高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人
高度急性期機能相当の患者 15人	急性期機能相当の患者 15人		

ここを高度急性期機能の推計に活用

※将来推計の考え方は、地域医療構想p.27-29

③日頃の診療や業務の中で感じている地域の実情を勘案しながら、地域の医療の現状を見ていく必要がある

区西部の状況

＜H27報告とH26報告の比較＞

- ・平成27年度報告は、高度急性期機能を選択した病床数は対前年比1,000床以上減、割合でも10.15ポイント減
- ・一方、急性期機能は、病床数で約950床以上増、割合でも9.1ポイント増

＜H27報告の特徴＞

- ・高度急性期機能を選択した病床の約8割が特定機能病院一般病棟入院基本料を届け出
- ・回復期機能を選択した病院は、回復期リハビリテーション病棟入院料または、地域包括ケア病棟入院料/入院医療管理料を算定
- ・高度急性期機能では、病床稼働率は都平均に比べ低く、平均在院日数は都平均より短い。また、慢性期機能では、病床稼働率は都平均に比べ低く、平均在院日数は都平均より長い。
- ・一般病棟7対1入院基本料を届け出ている病床は全て急性期機能を選択

＜H27報告と将来推計＞

- ・高度急性期機能を見ると、H27年度病床機能報告の病棟ごとの自己申告による報告は2,792床
- ・将来(2025年)の患者数は高度急性期相当(3,000点以上)で1,542人と推計され、その患者を診るために必要な病床数は2,056床
- ・但し、左記のとおりそのまま比較できるものではなく、約700床減らさなければならないという見方ではないことに留意

・そのままの比較は困難だが、将来推計において回復期機能が病床全体の32.6%を占めるのに対し、自己申告の値は8.3%とかなりのひらきがある。

・こうしたデータを参考にしながら、区西部において、不足すると考えられる機能や役割を検討する必要がある。

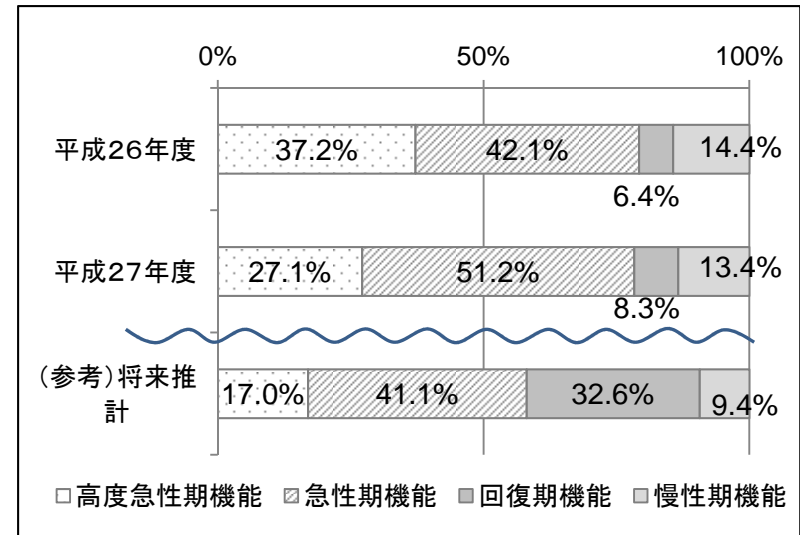
<データ1> 病床機能報告における4機能ごとの病床数

東京都地域医療構想 p.36、242-243参照

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	計※
平成26年度 報告結果	3,815床 37.2%	4,315床 42.1%	656床 6.4%	1,473床 14.4%	10,259床 100.0%
平成27年度 報告結果	2,792床 27.1%	5,269床 51.2%	850床 8.3%	1,378床 13.4%	10,289床 100.0%

※休棟及び未報告分を除く。割合(%)は機能ごとに小数点第二位を四捨五入。

(参考) 将来 推計	患者数	1,542人	3,886人	3,550人	1,043人	10,021人
(参考) 将来 推計	病床数	2,056床	4,982床	3,944床	1,134床	12,116床
		17.0%	41.1%	32.6%	9.4%	100.0%
2013年 推計足元	病床数	1,809.3床	4,030.9床	3,073.9床	1,578.9床	10,493.0床

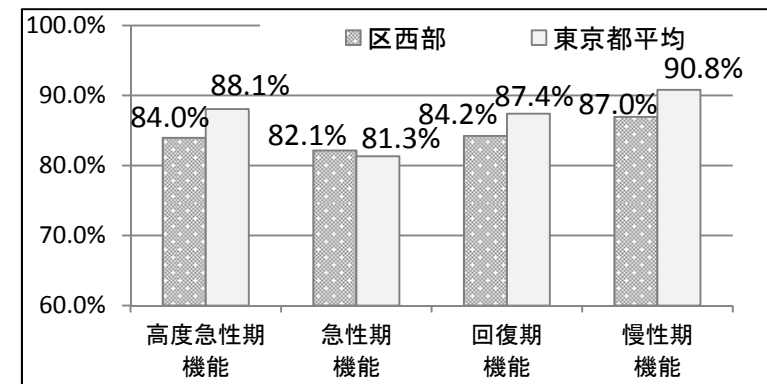


<データ2> 4機能と入院基本料

(床)

	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
1 特定機能病院 一般病棟入院 基本料	2,241	一般病棟7対1 入院基本料 3,870	回復期リハビリ テーション病棟入 院料 621	療養病棟入院 基本料 987
2 小児入院医療 管理料	204	一般病棟10対1 入院基本料 753	地域包括ケア病 棟入院料／入院 医療管理料 90	介護療養病床 195
3 特定集中治療 室管理料	133	地域包括ケア 病棟入院料／ 入院医療管理 料 179	有床診療所入院 基本料 73	緩和ケア病棟 入院料 57
4 ハイケアユニッ ト入院医療管 理料	63	小児入院医療 管理料 104		有床診療所入 院基本料 54
5 救命救急入院 料	62	有床診療所入 院基本料 98		一般病棟15 対1入院基本 料 38

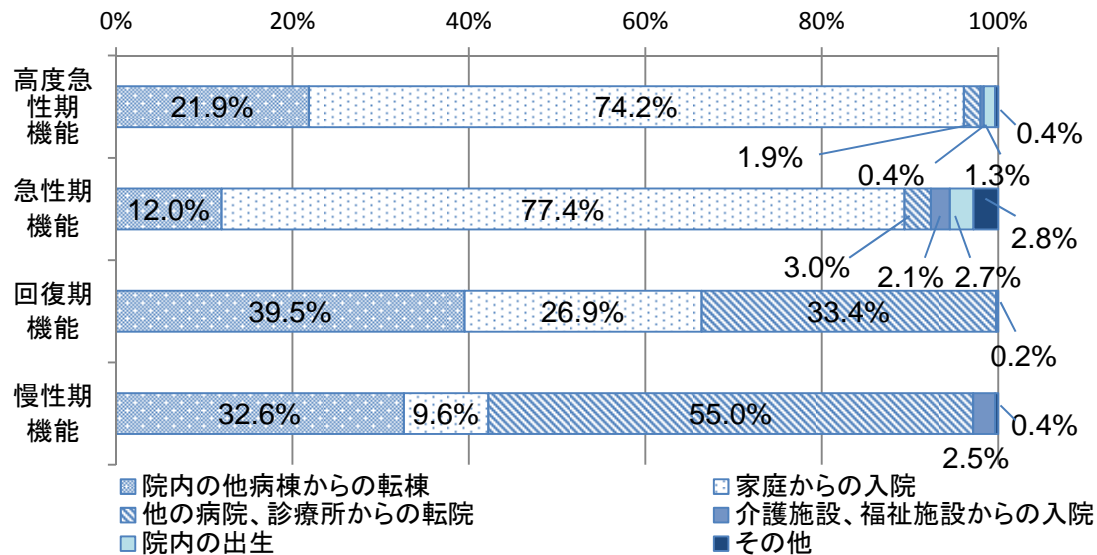
<データ3> 4機能と病床稼働率(病院)



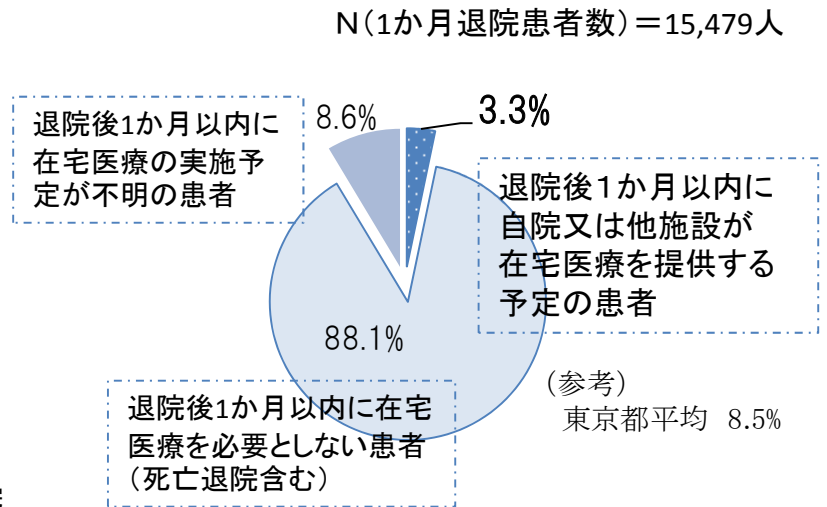
<データ4> 4機能と平均在院日数(病院)

高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
8.7日	11.2日	46.8日	198.3日

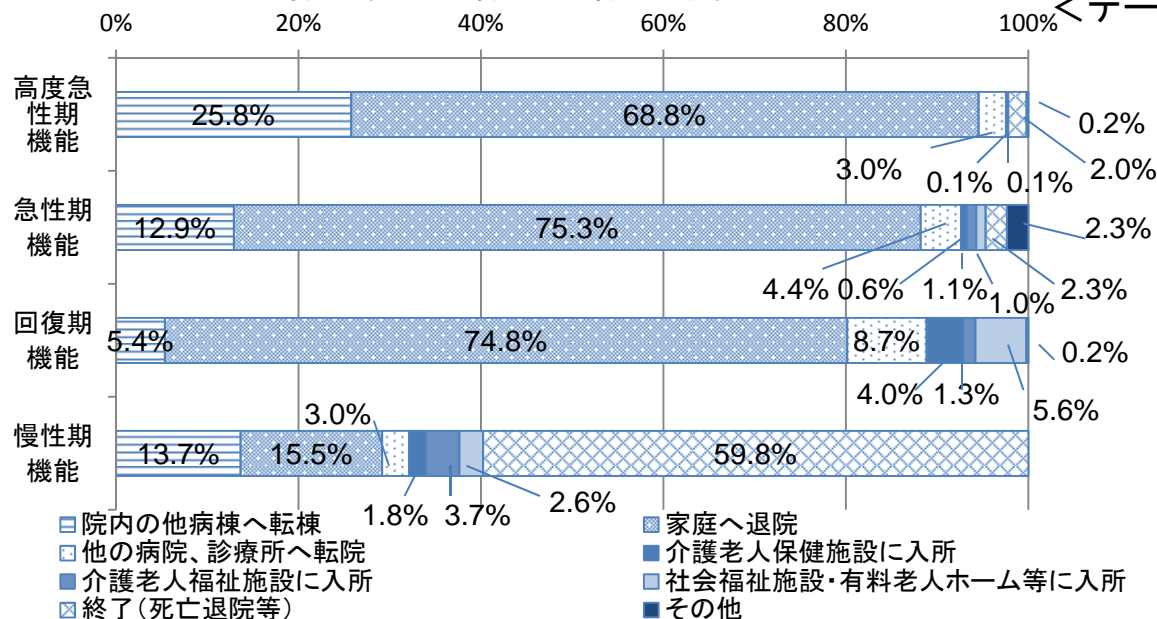
<データ5> 新規入棟患者の入棟前の場所（病院）



<データ7> 退院後に在宅医療を必要とする患者の割合（病院）



<データ6> 退棟患者の退棟先の場所（病院）



<データ8> 有床診療所が地域で果たしている役割

有床診の病床の役割	施設数	割合
病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡し機能	7施設	17.1%
専門医療を担って病院の役割を補完する機能	18施設	43.9%
緊急時に対応する機能	14施設	34.1%
在宅医療の拠点としての機能	8施設	19.5%
終末期医療を担う機能	5施設	12.2%
いずれにも該当しない	9施設	22.0%

注 報告のあった41施設を集計。複数回答可。